



HAKUJUJIKAI

佐世保中央病院

病院案内





社会医療法人財団白十字会

基本理念

患者さん・利用者さんが1日も早く
社会に復帰されることを願います。

基本方針

患者さん・利用者さんの権利を尊重し、快適な療養・生活環境を提供いたします。

地域医療機関との連携に努め、市民のニーズに合ったサービスを提供することにより、社会に貢献いたします。

職員の総和をもって、納得の医療・介護サービスを推進し、地域から信頼され、愛される施設を作ります。

最新の知見と設備を導入し、日進月歩の医療・介護に正面から取り組みます。

社会人として白十字会職員として、信頼される人格を持った責任ある人間を育成いたします。

すべての職員はかけがえない人財であり、職員にとって価値ある職場であるよう努力いたします。

シンボルマークデザインコンセプト

「hakujujikai」の頭文字の「h」を未来に羽ばたく羽根のようにデザインし、

市民の皆様や患者さん・利用者さんを表す3つの丸を優しく見守っています。

羽根の中心には白十字を置き、私たち職員の職業精神の基本であり、誇りを表しています。

「h」は「heart(心)」「hospitality(親切なおもてなし)」

「human(人間らしさ)」「health(健康)」を表し、

健康に寄与する私たち白十字会職員の統一した意志を象徴しています。



すべては、患者さんのために。



佐世保中央病院 病院長
竹尾 剛

佐世保中央病院の運営に関しまして、日頃より多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

当院の医療圏の中心となる佐世保市は、総人口約25万人、65歳以上の高齢者人口は約8万人で、高齢化率(総人口における高齢者人口の占める割合)は約32%と、全国平均の29.0%を大きく超える高齢化率を呈し、まさに日本の未来の縮図と言える地域です。厚生労働省は高齢者人口の増加に対処するため、地域包括ケアシステムを中心とした様々な政策を進めつつあります。当院の設立母体である白十字会は、常に国の政策を先取りして、高齢化に対して早くから取り組み、地域完結型の医療を目指してまいりました。1989年に長崎県で最初の介護老人保健施設「長寿苑」を開業、2000年には回復期リハビリテーション・慢性期入院医療を提供する「耀光リハビリテーション病院」、2024年には在宅復帰に向けたリハビリテーション提供に特化した「リハビリサポートひうみ」を開業して、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、在宅介護支援センター等と併せ、地域の診療所の先生方のご協力を得ながら、地域完結型医療システムを発展させてまいりました。

当院においては今後も、急性期一般病棟では急性期疾患の治療を、地域包括ケア病棟では急性期治療後のリハビリテーションや退院支援を行い、白十字会やその他の病院・施設とも連携して、患者さんの在宅あるいは施設への社会復帰を目指して努力してまいります。

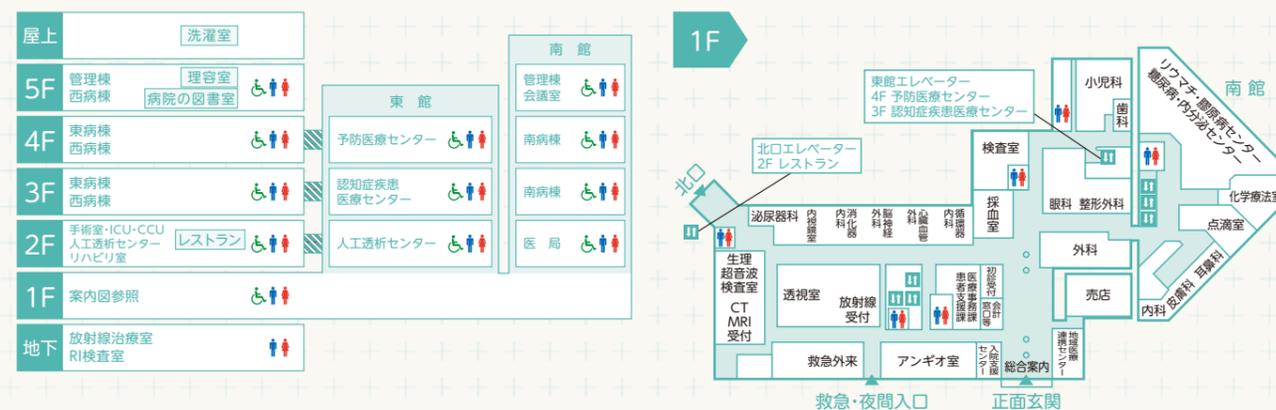
また、当院では患者さんの身体に負担が少ない低侵襲治療の一環として、以前より鏡視下手術を積極的に行ってまいりましたが、2024年9月より、手術支援ロボット「da Vinci」を導入し、更に安全で質の高い先端医療の提供に努める所存です。

更には、予防医療センターを中心に、健康診断や人間ドックなどの予防医療にも力を入れ、地域の皆様の健康寿命延長に貢献してまいりたいと考えております。

地域の皆様の健康を守り、2029年に迎える創業100周年に向けて、社会に必要とされる医療機関となるべく、職員一同努力を続けてまいります。しかしながら、地域の皆様のご協力なくしては当院の役割を果たすことはできません。今後ともご支援ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

病 | 院 | 概 | 要

施設名	社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院
病院長	竹尾 剛
住所	長崎県佐世保市大和町15番地
病床数	312床(急性期病床257床、地域包括ケア病床45床、集中治療管理室10床)
認定	DPC対象病院 地域医療支援病院 厚生労働省臨床研修指定病院 日本医療機能評価機構認定病院 長崎県指定がん診療連携推進病院 地域脳卒中センター 大動脈ステントグラフト認定施設 人間ドック・健診施設機能評価認定施設 開放型病院 救急告示病院 在宅療養後方支援病院
専門施設	人工透析センター 糖尿病・内分泌センター リウマチ・膠原病センター 認知症疾患医療センター 低侵襲治療センター 予防医療センター



地域を支える救急医療

救急医療

24時間365日、内科系・外科系の医師で断らない医療を目指し、2023年度は年間4,000人を超える救急患者(内2,500台の救急車)の受け入れを行いました。救急部では、医師をはじめ多職種で救急患者さんに対応しています。2024年度より救急救命士も配属し、救急病院として地域医療に貢献できるよう日々取り組んでいます。



2023年度実績

2,518台

救急車台数

4,427名

救急患者数

2,379名

救急入院数

ICU(集中治療室)

ICUでは主に心臓血管外科の手術後、心疾患の治療・検査、脊椎の手術後、内科の重症度の患者さんの医療・看護の提供を行っています。重症度が高いためクリティカル認定看護師を中心とし病棟全体の知識の向上に努め、医師、専任の理学療法士、管理栄養士で早期人工呼吸器離脱、早期離床、早期栄養開始に取り組み、臨床工学技士が人工呼吸器や生命維持管理装置の操作や管理を行うチーム医療の提供を行っています。



専門医療の充実

診療科

- 内科
- 脳神経内科
- 小児科
- 外科
- 整形外科
- 脳神経外科
- 呼吸器外科
- 呼吸器内科
- 心臓血管外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- リウマチ科
- 放射線科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 消化器外科
- 糖尿病内科
- 内分泌内科
- 内分泌外科
- 腎臓内科
- 人工透析内科
- 内視鏡内科
- 内視鏡外科
- 乳腺外科
- 大腸・肛門外科
- 胸部外科
- 病理診断科
- 臨床検査科
- 救急科
- 放射線治療科
- 歯科口腔外科
- 脳血管内科



専門施設

- 人工透析センター
- 糖尿病・内分泌センター
- リウマチ・膠原病センター
- 低侵襲治療センター
- 予防医療センター
- 認知症疾患医療センター



からだにやさしい「低侵襲」

医学用語で「体にとって害のある」ことを「侵襲」といい、手術であれば体にメスを入れること等を指します。この「侵襲」の度合いをできる限り低くする治療のことを「低侵襲治療」といいます。

当院は、内科・外科といった枠組みにとらわれることなく各専門医・診療科が横断的なチームとなり、腹腔鏡や胃カメラ・手術支援ロボットなどの医療機器を用いた「低侵襲治療」によって、患者さんの1日も早い社会復帰を支援します。



低侵襲手術のメリット

- 術後の痛みが少ない
- 出血の量が少ない
- 術後の回復が早い

早期退院・社会復帰 が期待できます

当院で行っている主な低侵襲手術

ロボット手術

術者が操縦席に座り、遠隔でロボットを操作して手術を行います。従来の鏡視下手術では難しい角度や視野を確保し、人間の手では実現不可能な鉗子の可動域を備えていることから、非常に精緻な手術を行うことができます。当院は、2024年9月より手術支援ロボット「da Vinci(ダビンチ)」を導入しています。



内視鏡手術

患部を見るために開発された専用の鉗子とカメラを、身体に開けた小さな穴から挿入して手術を行います。腹腔鏡・胸腔鏡・消化管内視鏡や関節鏡等の種類があり、旧来の手術より特殊性があり難易度の高い手術です。当院は内視鏡外科手術の技術認定医の管理下で手術を行うとともに、技術向上を目指し日々トレーニングに励んでいます。

MICS手術

心臓手術において、肋骨と肋骨の間を切開して行う手術です。一般的なものでは胸骨を切開するため傷口が大きくなりますが、MICS手術は傷口が小さく出血や感染リスクも少ないため、早期の社会復帰が期待できます。

脳疾患手術

脳の病気に対して、小開頭や穿頭術(数cmの皮膚切開で行う手術)や脳血管内治療(足や肘の内側などの太い血管からカテーテルを挿入する治療)を行っています。

低侵襲治療センターの取り組みはこちら
(病院ホームページ)



患者さんに寄り添った療養環境を提供します

急性期病棟

「医療機関連携のもとに、地域住民の健康を守り続ける」というミッションにて、県北地域における中核的な急性期病院として緊急度や重症度の高い病状の患者に対し、状態の早期安定化に向けて医療を提供する機能を持つ病院です。不安定な病態の患者を治療するため、24時間体制で迅速かつ専門的な治療を提供する役割を担い、日々多職種で協働し医療・看護の提供を行っています。



地域包括ケア病棟

在宅復帰を目標にリハビリ・療養指導を行い患者・ご家族が安心して在宅に帰れるように退院支援や看護を行っています。また、退院後もご自宅へ訪問させていただき、医療ソーシャルワーカーをはじめ、看護師、リハビリの多職種や訪問看護師やケアマネジャーとともに看護の継続やサービスの確認を行い、住み慣れた自宅で過ごせるよう退院支援に取り組んでいます。



多くの専門職が チームとなって 患者さん・ご家族 をサポートします



医療ソーシャル ワーカー

入院生活や退院後の療養の不安、経済的・社会的な不安のご相談や心理的なお悩みなど、さまざまにご相談に対応させていただきます。



管理栄養士

患者さんの病態に応じて、多職種と情報を共有しながら、栄養指導や栄養管理を行っています。



歯科衛生士

歯科医師、歯科衛生士と協働し、患者さんの口腔機能管理を主に、口腔ケアを行い、健康維持や機能回復に取り組んでいます。



診療放射線技師

放射線関連検査の技術向上や被ばく低減はもちろん、画像診断の補助や検査説明・相談など多職種と連携し、患者さんが安心して検査・治療を受けていただけるよう日々取り組んでいます。



医師

患者さんの病態を診断し、医学的管理や治療計画を立てます。患者さんの1日も早い回復のために最善の医療を提供します。



看護師

患者さんに一番身近な存在として、療養生活のお手伝いや疾病予防・ケアの提供を行います。



事務

病院の「顔」であり、笑顔で丁寧かつ迅速な窓口対応に努めています。医事・資材・地域連携・総務など、幅広い業務において職員と協力し病院運営を支えています。



臨床検査技師

24時間体制で患者さんの疾病の診断・治療に不可欠な臨床検査情報を提供しています。



理学療法士

病気やけがで低下した身体機能を回復・維持するために入院早期より運動療法や物理療法を用いて治療を行います。

heart



hospitality



human



health



臨床工学技士

安心して医療機器を使用していただけるように、機器の購入から運用・保守・修理・破棄まで一貫して管理を行っています。



薬剤師

救急および急性期の医療に24時間対応し、医薬品の適正使用ならびに適正管理に努めています。また、チーム医療の一員として服薬指導や副作用のチェック、注射薬の管理を行っています。



作業療法士

食事をしたり、トイレに行ったりするなど「生活行為」を通して治療を行ったり、できるように提案することが作業療法です。

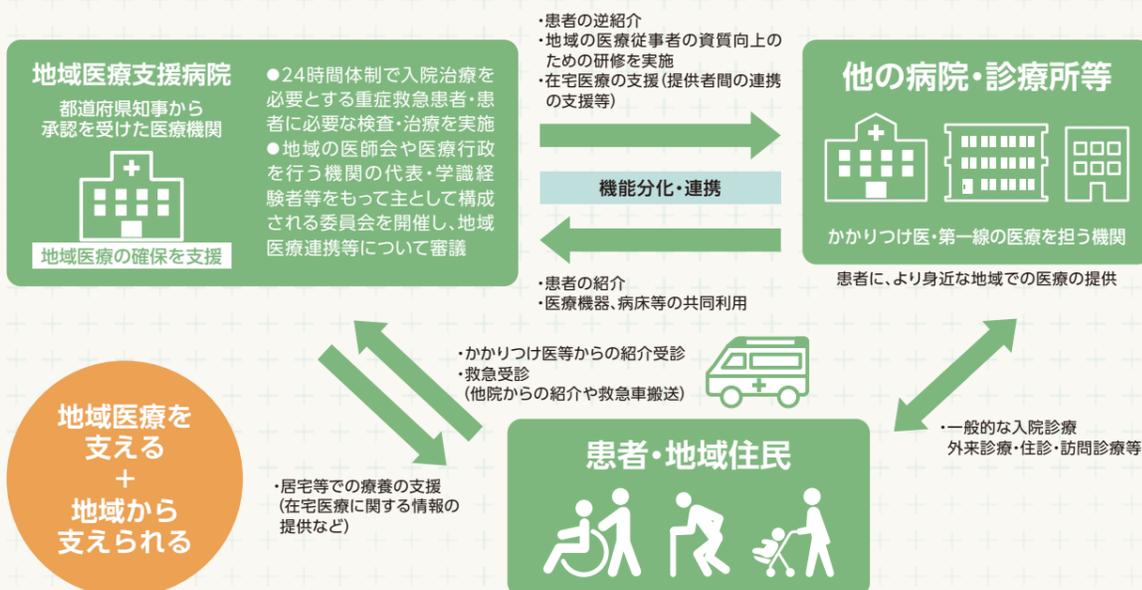


言語聴覚士

「聴く・話す・読む・書く」などの言葉の問題や、食べる・飲み込む機能に問題を抱えた方に対し、評価・訓練を行い、その機能の回復や代わりとなる手段の獲得へ向けたアドバイスなどを行います。

地域に開かれた病院として、地域医療を守る

当院は「地域医療支援病院」です。
 これは、「地域医療を支援すること」「地域に支援されること」の2つを行う病院、という意味です。
 救急医療や「かかりつけ医」から紹介された患者さんへの専門的かつ高度な診療を行い、症状が安定したら紹介元の医療機関や「かかりつけ医」での診療を継続できるように対応し、「地域完結型医療」の中心的な役割を担っています。



継ぎ目のない医療・介護を提供します

白十字会グループは、「患者さん・利用者さんが一日も早く社会に復帰されることを願います」を基本理念とし、長崎県佐世保市・福岡県福岡市西区で医療・介護サービスを提供しています。
 各施設が連携し、住み慣れた地域で「その人らしい暮らし」ができるよう、サポートいたします。

急性期医療

社会医療法人の使命である「救急医療」機能を果たすため、最新の医療技術と機器を備えるとともに、365日24時間体制で患者さんを受け入れています。



回復期医療

急性期治療後、リハビリテーションが必要な方へ専門的かつ集中的なリハビリテーションを行い、退院後に心配なく生活できるように支援します。



入所介護施設

医療処置や介護、生活支援などの入所サービスをご利用いただきながら、自立した生活と早期の在宅復帰を目指し、専門のスタッフが支援します。



在宅介護サービス

ご自宅へ帰られてもリハビリや療養が継続できるよう、通所リハビリや居宅介護サービスなどを展開しています。



白十字会グループの取り組みは
 こちらからご覧ください



予防医学の充実

佐世保中央病院に併設した「予防医療センター」では、ゆとりのある空間での快適な環境で人間ドックやがん検診など、様々な健診が受診できます。利用者様目線でサービスの品質向上に取り組んでいます。



施設認定・指定

日本人間ドック学会健診施設機能評価 (Ver. 4) 認定施設
 日本人間ドック学会専門医研修指定施設
 日本人間ドック学会保健指導認定実施施設
 健康保険組合連合会指定健診施設
 全国健康保険協会管掌健診指定施設

専門スタッフによる健康支援

健診結果に基づき、専門医や保健師、各専門指導士により、受診者のライフスタイルを考えた保険指導・健康支援を行っています。



万全のフォローアップ体制

検査の結果、精密検査や通院・入院が必要な場合は、併設の佐世保中央病院の予約や保健師・看護師が受診者の利便性を考慮した上で、医療機関の情報提供などを行っています。

レディース健診専門フロア

女性受診者のために、乳がん・子宮がん検診は専用のフロアをご用意しており、安心してご利用いただけます。



佐世保中央病院の取り組み

■SDGs

白十字会グループは、理念である「患者さん・利用者さんの1日も早い社会復帰」を実現するための取り組みとSDGs(持続可能な開発目標)の17の目標を結び、様々な取り組みを行っています。

取り組みはこちらから
ご覧ください



出前講座

■ドクター秘書

医師の事務的作業の補助を行います。外来診察室での診療録の代行入力や患者さんから依頼された診断書・書類の作成補助、診療に関わるデータ管理などを行っています。医師の事務的業務の負担軽減と診療時間をより良い時間となる様に努めています。



■日本医療機能評価機構認定施設

当院は1998年5月、医療機関の第三者評価を行う(財)日本医療機能評価機構より、長崎県で第1号の認定証を交付されました。2023年6月には6回目となる更新を認定されました。今後も質の高い医療が提供できるように努めていきます。



■病院ボランティア

車椅子介助、窓口や診療科のご案内、自動精算機の操作方法説明などのお手伝いをいただいております。ご不明な点がありましたら、お気軽に声をおかけください。



■臨床研修指定病院

臨床研修指定病院とは医学部を卒業し、医師免許を取得した医師(研修医)が卒後2年間、基本的な手技、知識を身につけるため籍を置く、つまり経験を積む・腕を磨く場を提供する病院です。当院は、協力病院である長崎大学病院・佐世保市総合医療センター・佐世保共済病院、協力施設である天神病院・麻生胃腸科外科医院・平戸市民病院・小値賀町国民健康保険診療所・音琴クリニック・加瀬クリニックの協力を得ながら、指導を行っています。



